

日刊 動労千葉

86. 7. 23

No. 2301

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄ゼネストで勝利への血路開こう

7.20全国鉄労働者集会に七五〇名

七月二十日、東京大手町・農協ホールにおいて国鉄法案粉碎、十一月ダイ改阻止、「真国労解体」をスローガンにかかげ、「国鉄分割・民営化絶対阻止」七・二〇全国鉄労働者集会」が正午より開催された。会場に収用人員を上まわる参加者がおしよせ入場できない労働者がでるといふなかで七五〇名が結集し、今こそ国鉄分割・民営化絶対阻止—中曽根を倒すゼネスト決起にむかって全国の闘う力を一大潮流に変えよう、との勝利の方針をうちたてる大成功をかちとつた。

今日をもつて火ふたを切る！

—闘わずの後退は「死」だ—

この一年半で中曽根・当局の攻撃によって六一人の仲間が殺された。国労破壊—分裂策動、大量首切りへの攻撃がふきあれている。「このままでは国労はつぶされてしまう。いま起たなければならぬ」とみんなじりじりしながら感じているのだ。これほどの攻撃がかかっているのに反撃の方針も出さない国労中央の現状のなかで、もはやじつとしていことはできない。全国の各職場で必死になつてたたかいていっている国労の仲間やむにやまれぬ気持ちで国鉄労働者八名がよびかけた七・二〇集会は国労秋田・小玉氏が最初に登壇し、「国労の職場にす



さまじい攻撃がかけられている。国労の仲間は、国労は必ず反撃に起つと確信している。だから国労の旗を守りぬいている。本日は慰め合うために集まったのではない。今日をもつて闘いの火ぶたを切ろう」と開会を宣言した。前半の司会を受けもつた国労新幹線・富田氏から三里塚芝山連合空港反対同盟事務局長北原氏、元動労副委員長、船橋市議・中江氏が紹介され、両氏より連帯のあいさつを受けた。

組織・考え方・路線のちがいを超え決起することが勝利の道だ

—鎌倉孝夫氏、中野委員長が講演—

そして、埼玉大教授・鎌倉孝夫氏より「危機にたつ中曽根内閣と分割・民営化攻撃」の講演に入り、国鉄改革—分割・民営化が改革の名に値しないペテン性・インテキ性・デマゴギー性・反人民性に満ちているものであることについてあますことなく暴きだされた。

国鉄労働者が闘わないでどうして勝利できようか！

つづいて、動労千葉・中野委員長から「いまこそ総反撃へ。国鉄労働運動の課題と任務」と題した講演では、「動労が総評から脱退する、職場で差別・選別—人材活用センターが発足するなど七月に入つて情勢は一段と急ピッチで動いている」と前置きし、「動労・鉄労が当局と一体となつてやっている事は、国鉄の「改革」などではなく「解体」そのものであり、その最大の狙いは、国労をつぶすことにある。しかし、現場に方針もなく、何をしたいかわからない状況の中、でさえ、国労の組合員は現場でまだまだがんばつて闘っている仲間が多勢いる。

今、本場に闘う方針と指導を求めているのだ。国労の各職場にはまだ多数の戦闘的・良心的結集体がある。それが活動家となつて職場を、国労を支えてきた。だが、このままでは全部ふきとばされてしまう。国鉄労働者の闘う力がバラバラに分断されている状態を突き破り、組織・考え方・路線のちがいを超え、分割・民営化絶対反対の一つの力となつて今日を起点に本気になつて闘おう」との訴えがなされた。

敗北主義を一掃し、国鉄ゼネストで勝利への血路開こう

—国労共闘・吉野代表が基調報告—

七・二〇集会のよびかけ人代表・国労東京の吉野氏が基調報告にたち「もはや国鉄の企業としての再建か解体か？—ではなく日本労働者階級の生か死かが問われている情勢のもとで分割・民営絶対阻止へ党派を超え、共同と統一した行動の実現への第一歩を本日からとつた。国鉄労働者—当人自身が、そして仲間が—首を切られようとしている時、血を流しても闘わないでどうして国民の支持が得られようか。動労革マル・真国労を粉碎し、一切の敗北主義を一掃し、ゼネストを実現する強大な流れをつくりだそうとたたかう方針を展開した。

全国・各職場から闘いの報告

—各地を代表して十一名が決意—

集会は、後半に入り司会は動労千葉・綾部氏にかわり、激電が披露された後、いよいよ全国から十一名の国鉄労働者が登壇し「国鉄労働者の先頭に起つて闘いぬく」決意を明らかにした。そして、動労千葉から布施書記長が発言にたち「十一名の発言者が動労千葉のようにならば勝るといつた。本場にそうなのだ」と自信をもつて述べた。最後に、動労千葉・永田氏が「今集会の成功をもつて全国にうってよう」と閉会挨拶をし、吉野氏の音頭で団結ガンパローをもつて終了した。

※佳米会の「基調報告」および中野委員長「講演」内容は次号で紹介

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！